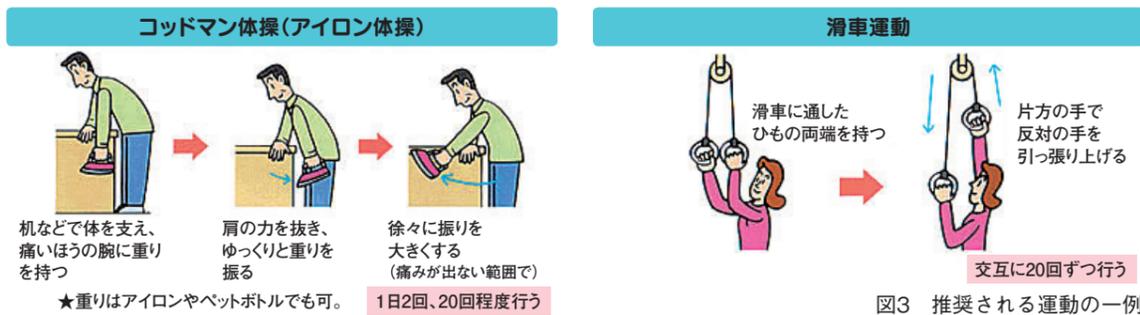


はかかりますので根気よく治療を続けることが重要です。また前述1の棘上筋腱の断裂はその程度によっては手術が必要となります(変性主体の断裂 最終的に関節の動きを取り戻すことができた程度により症状の改善が得られますは手術ができない場合もあります)



アミロイド肩関節症に対する手術

血液維持透析を長期に行われている方に生じるアミロイドの沈着は肩関節にも生じます。一般的な「五十肩」とは異なる原因で、棘上筋腱周辺や烏口肩峰靭帯周辺のアミロイド沈着が主体となり、腱が締め付けられる状態にされて透析中や就寝時の痛みが問題となります。前述のような治療で十分な効果が得られない場合は、烏口肩峰靭帯(図1)の切離による絞扼の解除が有効な場合があります。

第13回 新生会オープンセミナー



テーマ「みんなで支える認知症患者とその家族」

「認知症サポーター養成講座」 瑞穂区東部地域包括支援センター 社会福祉士 吉田 紀子
「認知症患者様との関わり」 訪問看護ステーション サルビア 看護師 力武 まゆみ

日 時：2010年9月18日(土) 午後1時30分～3時30分 (受付 午後1時より)
場 所：新生会第一病院 集会室
お問合せ：患者サービス推進委員会(清水・大坪) TEL:(052)832-8411(代表)

健康診断のご案内

名古屋市がん検診 一律500円
特定健診と同時に行うことができます。

胃がん検診	40歳以上の方
大腸がん検診	40歳以上の方
肺がん・結核検診	40歳以上の方
前立腺がん検診	50歳以上の男性
骨粗しょう症検診	*①
C型・B型肝炎ウイルス検査	*②

*①40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性
*②過去にC型・B型肝炎ウイルス検査を受けたことのない方

お問い合わせ先
外来受付または電話にてご予約下さい。 健診予約係

人間ドック (1時間30分～3時間)

Aコース	26,250円
Bコース	36,750円
Cコース	47,250円
日帰りドック全身チェックコース	57,750円

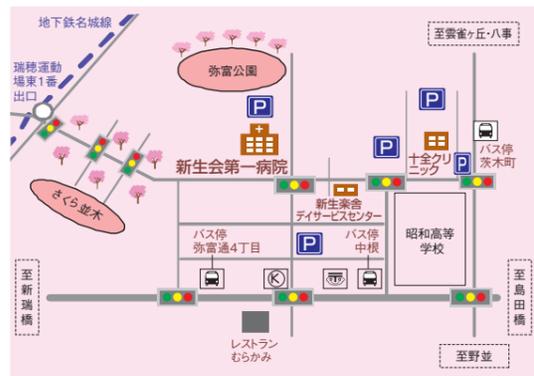
人間ドック基本項目
身体計測 医師診察
尿検査 血液検査
X線検査(胸部) 心電図
胃カメラ又は胃透視
【コースによって検査が追加になります】

骨ドック (30分～1時間) 3,150円～10,500円

新生会第一病院

住所 〒467-8633
名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2
電話 (052)832-8411 FAX (052)832-8417
ホームページ
<http://www.hospny-shinseikai.org>

○診療内容○
腎・一般内科、整形外科・リウマチ科、シャント外科、内分泌(甲状腺)糖尿病、総合内科、副甲状腺外来、家庭透析、CAPD、糖尿病栄養外来
※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受け付けていますので来院ください)



生老病死と社会保障

急速に平均寿命が延びた現代、生と死の間に老いが加わった。人生50年の時代は壮年で死亡し、生と死は隣り合わせであった。老いと病氣と生活、これらをいかに上手く克服するのか、言い換えれば、医療、介護、福祉、年金など社会保障の問題は大きい。

院長 小川 洋史

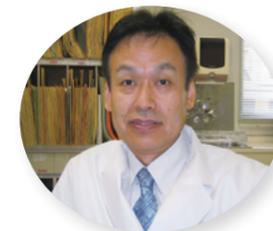
写真：上毛無俗の草紅葉(八甲田山・青森県) 撮影：小川洋史



慢性腎炎



腎臓内科医師 高山 公洋 (月曜日外来)



先のけんこう百花61号で、小川院長がCKD(慢性腎臓病)について解説しています。今回は、CKD の中で主要な位置を占める慢性腎炎とこれに付随することがあるネフローゼ症候群についてお話しします。

慢性腎炎は慢性糸球体腎炎ともいい、いろいろな腎炎の総称名です。腎炎といっても細菌による感染症の炎症とは違い(腎臓の場合、これは腎盂腎炎といい、発熱や痛みを伴います)、腎臓の中にある糸球体という血液から尿を濾し出す組織に、免疫異常による炎症が引き起こされるものです。言い換えれば「膀胱炎」は細菌で起こり抗生物質を使って治療しますが、「腎炎」には効かないのです。残念ながらまだ原因と進行していく機序が解明されておらず、そのため治癒に至る治療法も確立していません。

IgA腎症

慢性腎炎にはいくつかの種類はありますが、代表的疾患がIgA 腎症(アイジーエーじんしょう)です。IgA とは免疫グロブリンという蛋白の一種で、これが糸球体に多く沈着しているためこの名前がついています。日本人の腎炎の半数はこの腎炎で、比較的若い人にも発症し、長い年月を経過していきます。一番の問題は腎機能低下が進行することが多く、20年の経過で30～40%の人が腎不全となり透析治療が必要となることです。症状としては風邪などを引いた際に尿がコーラ色になる(これを肉眼的血尿と呼びます)ことが希にある他は全く無症状で、ほとんどは学校や勤務先の検診での検尿異常で見つかります。すなわち尿潜血と尿蛋白のどちらか、もしくは両方が陽性になります。

最近、扁桃腺摘出と副腎皮質ホルモン(ステロイド)治療で一部では寛解することが分かってきて、治療が変わりつつあります。

ネフローゼ症候群

これは具体的な疾患名ではなく、腎炎などで蛋白が尿中に大量に漏れることにより血液中の蛋白濃度が下がり、むくみ易くなる病態を指します。したがって、ネフローゼ症候群を起こす原因となる疾患が必ず存在し、腎炎としては微小変化群、膜性腎症、巣状糸球体硬化症などいくつかあります。糖尿病による腎障害である糖尿病性腎症でも高頻度でネフローゼ症候群を呈します。

どの腎炎によるかによって治療法が異なりますが、ステロイド治療が効果的な場合が多く、検尿異常とむくみが見られれば、腎疾患を疑って早めに専門医の診察を受ける必要があります。

CKD(慢性腎臓病)とくに慢性腎炎の特徴

1. 初発症状がなく自覚症状に乏しい
2. 緩徐で慢性の経過をとる
3. 腎機能低下が始まると自然に悪化していくことが多い
4. 心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患の併発頻度が高い
5. 発症進行の機序が未解明で根治療法も未確立



最後に、慢性腎炎の特徴を左の表にまとめました。初発症状がない上、腎臓の動きが低下してきてもなかなか症状は出ません。しかし、尿検査や血液検査をすれば異常はすぐに簡単にわかります。検診の機会を逃さないのはもちろん、風邪などで受診した際にも検尿を受けるようにしましょう。

ザ・ニュース!!



新生会第一病院は、2010年6月(財)日本医療機能評価機構より、再度認定施設として認定証を交付されました。

災害対策委員会活動報告



AEDを使用した救命処置

災害対策委員 看護師 題佛 真覚実

災害対策委員会では、年2回の防災訓練を実施しています。患者の避難誘導や職員の火災訓練、緊急連絡網テスト、災害用伝言ダイヤル171の啓蒙活動、外来でのトリ



アージなど、東海大地震に備えた訓練は多岐にわたっています。春の訓練では一般職員向けに、AED(自動体外式除細動器)を使用した一次救命処置のデモンストレーションを行いました。AEDは誰でも簡単に使用できるようになっており、愛知万博では実際に使われて救命された例があります。意識不明の状態で心肺停止に陥った人を発見した場合、率先してAEDが使用できるように参加した職員はいつもになく真剣でした。今後は患者参加型の緊急避難や安否確認の精度を上げる活動を企画し実施したいと考えています。



透析と肩関節の痛みについて

整形外科医師 舟橋 康治

いわゆる「五十肩」とは、肩の痛みと動きの制限を伴う状態の総称で、その原因は肩関節を構成する組織である、筋肉・骨・靭帯・関節包(滑液包)などに生じた炎症や変性(老化現象)によって引き起こされます。またその原因は複数の組織に生じ、かつ動的な要素(日常生活での使い方)が加わり、原因の特定は困難です。



図1 肩関節模型(外側より)

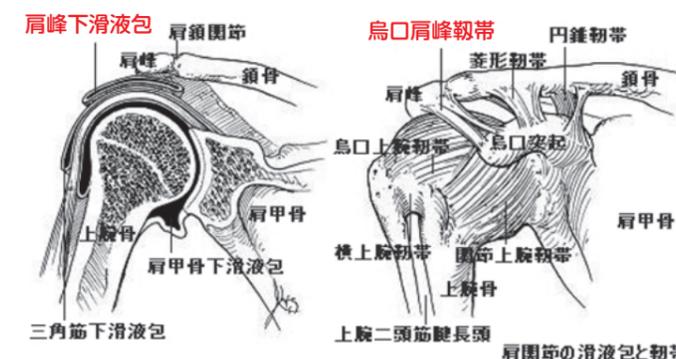


図2 肩関節断面、靭帯組織

障害部位

そのような状況の中、障害部位として主要なものは…

1. 棘上筋腱(腱板)の断裂・変性
2. 上腕二頭筋腱長頭の炎症
3. 肩峰下・肩甲下滑液包内の炎症(時としてカルシウムが沈着します)
4. 骨棘形成(骨の変形)
5. 筋萎縮による上肢帯の支持力不足(自分の腕の重さを筋力で支えられない)
6. 関節包の拘縮(関節の袋が固くなる)
7. 各種類の筋肉の線維性癒着(滑りが悪くなる)

などが挙げられますが、これが重なり合って肩の痛みと動かしにくさを生じます。

診断と治療

診断は上述のように困難ではありますが、診察時での各種徒手検査に始まり、レントゲン画像所見、必要時にはMRIや超音波検査などを用いて原因の特定にあたります。治療の手順としては、障害の内容により異なる所はありますが、大多数においては、関節構成組織に炎症を伴っていることより、まずは局所の安静、消炎鎮痛剤の投与から始まります。炎症が強い場合には抗炎症作用の強いステロイドと局所麻酔薬を注射します。炎症の強い急性期を経過すると前述5.6.7のような状態が主体となり、動きの制限(拘縮)が痛みの原因となってきますので動きの改善を目標に体操(図3)(場合によってはリハビリ)を開始し、潤滑作用のあるヒアルロン酸を関節内に注射することもあります。最終的には関節の動きを取り戻すことができた程度により症状の改善が得られますが、6~12か月